



ぶどうのせん定について指導を受けるI氏

概要

◆氏名・所在地

I 氏 岡山県新見市

◆研修開始年

令和6年10月（農業体験研修）

◆研修内容

ぶどうの収穫や選果作業、地域との交流などを1か月間研修し、就農を決心。令和7年3月から2年間の長期研修に取り組む。

1

就農相談までの背景

趣味で野菜を栽培し、自然の中での作業や手間暇をかけ努力した結果が反映されることに魅力を感じ、本格的に農業をやってみたいと思うようになった。

岡山県新見市で開催された就農オリエンテーションに参加し、ぶどうに興味を持ち、新規就農者を募集していることを聞き、就農相談窓口になっている「新見農業普及指導センター（以下「普及指導センター」という）へ相談した。

2

相談内容

新見市の新規就農者募集のことを知り、ぶどう（ピオーネ）を本格的に栽培し、生活していける新規就農をめざしたい。

ぶどうの栽培の知識はなく、中山間地域での農村生活がどのようなものかわからないので、具体的な農作業、地域の概要や農家生活、農地や住居の確保について知りたい。

3

支援内容

●研修制度の紹介

普及指導センターでは、就農までのプロセス、1か月間の農業体験研修、2年以内の農業実務研修といった段階的に就農まで進むことができる県独自の研修制度を紹介するとともに、農業体験研修の受入れ先との調整を行った。また、研修中に活用できる就農準備資金、経営開始資金等について説明した。

また、「岡山県農業経営・就農支援センター（以下「支援センターという。）」では、県域を対象とする新規就農セミナーへの参加等を通じて、新規就農者の事例紹介等を行った。

●関係機関との連携による取組

新規就農者の受入れを積極的に進めている新見市、JA晴れの国岡山、阿新ぶどう部会と普及指導センターが密接に連携し、農家での体験の支援、地域の紹介、選果場での体験を実施した。

今後も引き続き就農に向けて支援していく。

●2年間の農業実務研修へ

就農準備資金も活用しなら、令和7年3月から2年間の農業実務研修に進み、当面栽培面積30aを目標に、農地(成園)の確保を支援していく。



就農相談の様子



オリエンテーションでぶどう栽培の説明を受けるI氏

今後の意気込み

一連の作業工程を学ぶとともに、研修中に地域の方々と積極的にコミュニケーションをとって、就農後に成園や空き家を借りられる機会ができるよう努力したいと思います。

当面は1人で就農する計画で、栽培面積30aを目標に省力化を心掛け、無理のない農業経営に取り組みたいです。

専属スタッフ所感

相談者は研修期間中、積極的に学ぶ姿勢で取り組まれておられ、体力面、精神面での問題もなく、イベントを通じた地域の方との交流、先輩農業者との情報交換など、地域に溶け込もうとする姿勢が見られました。

今後も新規就農希望の方がスムーズに就農に向けて進んでいけるよう、普及指導センターや市、JA、生産部会などが連携して対応していきます。